

(ミクタム詩編の流れ)

(あなたは私に、いのちの道を知らせてくださいます)

詩編 16.01 ダビデのミクタム 神よ。私をお守りください。私は、あなたに身を避けます。  
 16.02 私は、主に申し上げました。「あなたこそ、私の主。私の幸いは、あなたのほかにありません。」  
 16.03 地にある聖徒たちには威厳があり、私の喜びはすべて、彼らの中にあります。  
 16.04 ほかの神へ走った者の痛みは 増加しましょう。私は、彼らの注ぐ血の酒を注がず、その名を口に唱えません。  
 16.05 主は、私へのゆずりの地所、また私への杯です。あなたは、私の受ける分を、堅く保ってくださいます。  
 16.06 測り綱は、私の好む所に落ちた。まことに、私への、すばらしいゆずりの地だ。  
 16.07 私は助言を下された主をほめたたえる。まことに、夜になると、私の心が私に教える。  
 16.08 私はいつも、私の前に主を置いた。主が私の右におられるので、私はゆるぐことがない。  
 16.09 それゆえ、私の心は喜び、私のたましいは楽しんでいる。私の身もまた安らかに住まおう。  
 16.10 まことに、あなたは、私のたましいを よみに捨ておかず、あなたの聖徒に墓の穴をお見せにはなりません。  
 16.11 あなたは私に、いのちの道を 知らせてくださいます。あなたの御前には喜びが満ち、あなたの右には、楽しみがとこえにあります。

\*\*\*\*\*

(神は我らを見捨てられたのか)

\* 苦難を与える神

詩編 60.01 指揮者のために。「さとしは、ゆりの花」の調べに合わせて。教えのためのダビデのミクタム。ダビデがアラム・ナハライムやアラム・ツオブと戦っていたとき、ヨアブが帰って来て、塩の谷でエドムを一万二千人打ち殺したときに神よ。あなたは私たちを拒み、私たちを破り、怒って、私たちから顔をそむけられました。  
 60.02 あなたは地をゆるがせ、それを引き裂かれました。その裂け目を、いやしてください。地がぐらついているのです。  
 60.03 あなたは、御民に苦難をなめさせられました。よろめかす酒を、私たちに飲ませられました。  
 60.04 あなたは、あなたを恐れる者のために 旗を授けられました。それは、弓にかえて、これをひらめかせるためです。セラ  
 60.05 なたの愛する者が助け出されるために、あなたの右の手で救ってください。そして私に答えてください。  
 60.06 神は聖所から告げられた。「わたしは、喜び勇んで、シケムを分割し、スコテの谷を配分しよう。  
 60.07 ギルアデはわたしのもの。マナセもわたしのもの。エフライムもまた、わたしの頭のかぶと。ユダはわたしの杖。  
 60.08 モアブはわたしの足を洗うたらい。エドムの上に、わたしのはきものを投げつけよう。ペリシテよ。わたしのゆえに大声で叫べ。」  
 60.09 だれが私を防備の町に連れて行くでしょう。だれが私をエドムまで導くでしょう。  
 60.10 神よ。あなたご自身が 私たちを拒まれたのではありませんか。神よ。あなたは、もはや私たちの軍勢とともに、出陣なさらないのですか。  
 60.11 どうか、敵から私たちを助けてください。まことに、人の救いはむなししいものです。  
 60.12 神によって、私たちは力ある働きをします。神こそ、私たちの敵を踏みつけられる方です。

\*\*\*\*\*

(どうか目をさまして、私を助けてください)

\* ただ、嘆願の詩編

詩編 59.01 指揮者のために。「滅ぼすな」の調べに合わせて。ダビデのミクタム。ダビデを殺そうと、サウルが人々を遣わし、彼らがその家の見張りをしたときに わが神、私を敵から救い出してください。私に立ち向かう者が届かぬほど、私を高く上げてください。  
 59.02 不法を行う者どもから、私を救い出してください。血を流す者どもから、私を救ってください。  
 59.03 今や、彼らは私のいのちを取ろうと、待ち伏せています。力ある者どもが、私に襲いかかろうとしています。主よ。それは私のそむきの罪のためでもなく、私の罪のためでもありません。  
 59.04 私には、咎がないのに、彼らは走り回り、身を構えているのです。どうか目をさまして、私を助けてください。どうか、見てください。  
 59.05 あなたは万軍の神、主。イスラエルの神。どうか目をさまして、すべての国々を罰してください。悪い裏切り者は、だれをもあわれまないとください。セラ  
 59.06 彼らは、夕べには帰って来て、犬のようにほえ、町をうろつき回る。  
 59.07 見よ。彼らは自分の口で放言し、彼らのくちびるには、剣がある。そして、「だれが聞くものか」と言っている。  
 59.08 しかし主よ。あなたは、彼らを笑い、すべての国々を、あざけられます。  
 59.09 私の力、あなたを私は、見守ります。神は私のとりです。  
 59.10 私の恵みの神は、私を迎えに来てくださる。神は、私の敵の敗北を見せてくださる。  
 59.11 彼らを撃つてしまわないでください。私の民が、忘れることのないためです。彼らを放浪させてください。彼らを打ち倒してください。主よ。私たちの盾よ。  
 59.12 彼らの口の罪は、彼らのくちびるのことばです。彼らは高慢に取りつかれるがよい。彼らの述べる、のろいとへつらいのために。  
 59.13 激しい憤りをもって滅ぼし尽くしてください。滅ぼし尽くして、彼らをなくしてください。そうして、神が地の果て果てまでも ヤコブを治められることを、彼ら知るようにしてください。セラ  
 59.14 こうして、彼らは夕べには帰って来て、犬のようにほえ、町をうろつき回る。  
 59.15 彼らは、食を求めて、うろつき回り、満ち足りなければ、うなる。  
 59.16 しかし、この私は、あなたの力を歌います。まことに、朝明けには、あなたの恵みを 喜び歌います。それは、私の苦しみの日に、あなたは私のとりで、また、私の逃げ場であられたからです。  
 59.17 私の力、あなたに、私はほめ歌を歌います。神は私のとりで、私の恵みの神であられます。

\*\*\*\*\*

(彼らの歯を、その口の中で折ってください)

\* 復讐の詩編

詩編 58.01 指揮者のために。「滅ぼすな」の調べに合わせて。ダビデのミクタム 力ある者よ。ほんとうに、おまえたちは義を語り、人の子らを公正にさばるのか。  
 58.02 いや、心では不正を働き、地上では、おまえたちの手の暴虐を、はびこらせている。  
 58.03 悪者どもは、母の胎を出たときから、踏み迷い、偽りを言う者どもは 生まれたときからさまよっている。  
 58.04 彼らは蛇の毒のような毒を持ち、耳をふさぐ、耳の聞こえないコブラのよう。  
 58.05 これは、蛇使いの声も、巧みに呪文を唱える者の声も、聞こえずしい。  
 58.06 神よ。彼らの歯を、その口の中で折ってください。主よ。若獅子のきばを、打ち砕いてください。  
 58.07 彼らを、流れて行く水のように 消え去らせてください。彼が矢を放つときは、それを折れた矢のようにしてください。  
 58.08 彼らを、溶けて、消えていくかたつむりのように、また、目の目を見ない、死産の子のようにしてください。  
 58.09 おまえたちの釜が、いばらの火を感じる前に、神は、生のももの、燃えているものも、ひとしくつむじ風で吹き払われる。  
 58.10 正しい者は、復讐を見て喜び、その足を、悪者の血で洗おう。  
 58.11 こうして人々は言おう。「まことに、正しい者には報いがある。まことに、さばく神が、地におられる。」

\*\*\*\*\*

(私のたましいは、うなだれています)

\* 「無力な我」

詩編 57.01 指揮者のために。「滅ぼすな」の調べに合わせて。ダビデのミクタム。ダビデがサウルからののがれて洞窟にいたときに神よ。私をあわれんでください。私をあわれんでください。私のたましいはあなたに身を避けていますから。まことに、滅びが過ぎ去るまで、私は御翼の陰に身を避けます。  
 57.02 私はいと高き方、神に呼ばわれます。私のために、すべてを成し遂げてくださる神に。  
 57.03 神は、天からの送りで、私を救われます。神は私を踏みつける者どもを、責めておられます。セラ 神は恵みとまことを送られるのです。  
 57.04 私は、獅子の中にいます。私は、人の子らをむさぼり食う者の中で 横になっています。彼らの歯は、槍と矢、彼らの舌は鋭い剣です。  
 57.05 神よ。あなたが、天であがめられ、あなたの栄光が、全世界であがめられますように。  
 57.06 彼らは私の足をねらって綱を仕掛けました。私のたましいは、うなだれています。彼らは私の前に穴を掘りました。そして自分で、その中に落ちました。セラ

- 57.07 神よ。私の心はゆるぎません。私の心はゆるぎません。私は歌い、ほめ歌を歌いましょう。  
 57.08 私のたましいよ。目をさませ。十弦の琴よ。立琴よ、目をさませ。私は暁を呼びさましたい。  
 57.09 主よ。私は国々の民の中にあつて、あなたに感謝し、国民の中にあつて、あなたにほめ歌を歌いましょう。  
 57.10 あなたの恵みは大きく、天にまで及び、あなたのまことは雲にまで及ぶからです。  
 57.11 神よ。あなたが、天であがめられ、あなたの栄光が、全世界であがめられますように。

\*\*\*\*\*

(どうか私の涙を、あなたの皮袋にたくわえてください)

\* 信頼の詩編

詩編

- 56.01 指揮者のために。「遠くの人、もの言わぬ鳩」の調べに合わせて。ダビデのミクナム。ペリシテ人が、ガテでダビデを捕らえたときに 神よ。私をあわれんでください。人が私を踏みつけ、一日中、戦って、私をしいたげます。  
 56.02 私の敵は、一日中、私を踏みつけています。誇らしげに私に戦いをいどんでいる者が、多くいます。  
 56.03 恐れのある日に、私は、あなたに信頼します。  
 56.04 神にあつて、私はみことばを、ほめたたえます。私は神に信頼し、何も恐れませんが、私に何をなしえましょう。  
 56.05 一日中、彼らは私のことばを痛めつけています。彼らの思い計ることはみな、私にわざわざを加えることです。  
 56.06 彼らは襲い、彼らは待ち伏せ、私のあとをつけています。私のいのちをねらっているように。  
 56.07 神よ。彼らの不法のゆえに、彼らを投げつけてください。御怒りをもって、国々の民を打ち倒してください。  
 56.08 あなたは、私のさすらいをしるしておられます。どうか私の涙を、あなたの皮袋にたくわえてください。それはあなたの書には、ないのでしょうか。  
 56.09 それで、私が呼ばれる日に、私の敵は退きます。神が私の味方であることを私は知っています。  
 56.10 神にあつて、私はみことばをほめたたえます。主にあつて、私はみことばをほめたたえます。  
 56.11 私は、神に信頼しています。それゆえ、恐れませんが、人が、私に何をなしえましょう。  
 56.12 神よ。あなたへの誓いは、私の上にあります。私は、感謝のいけにえを、あなたにささげます。  
 56.13 あなたは、私のいのちを死から、まことに私の足を、つまずきから、救い出してくださいました。それは、私が、いのちの光のうちに、神の御前を歩むためでした。